

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービス poco a poco		2025年 12 月 25 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子どもたちの状況に合わせて部屋の選択をしている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		基準に応じ適切に配置している	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		トイレや手洗い場などの上部に表示板を設置 階段に手すりを設置している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々は子どもたちが清掃・片づけを療育の一環として行い、子どもたちの来る前、帰ってから、休日の前日などに職員がこまめに清掃を行っている	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		希望があれば使用可能	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルに関する会議の中で、職員の意見のすり合わせや目標設定を行っている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回のアンケートを実施し、職員全員で確認している	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議を定期的に関き、支援前後のミーティングでも意見把握に努めている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は受けていないが、見学等の希望があれば積極的に受け入れている	今後も広く受け入れを行い、見学者の方々からご意見をいただき、運営に活かしていきたい
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		強度行動障害などの資格取得のための講座やデイで支援に取り入れている公文式の研修などを紹介し、職員に受講するよう呼びかけている	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HP上で公表している	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		放課後等デイサービスの個別支援計画の見直し時期に合わせて、支援にかかわる職員内で気になることや解決すべき課題について共有し、話し合っ放課後等デイサービスの個別支援計画の作成をしている	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画の必要な部分は職員間で共有している また、新たな情報はミーティングで周知し、支援における注意点など確認を行っている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		子どもの障害特性や能力、興味関心事などに合わせて、個々の力を伸ばせるような計画を作成している	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		自立するまでに身に着けたいスキルと家族支援・移行支援地域支援・地域連携支援を踏まえた個別支援計画（5領域）に沿った支援内容を設定している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		長期休暇の計画を中心に、職員全員で話し合っメニューを計画立案している	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		例年この時期に何をしていたかなどを振り返り目新しいメニューと固定メニューを併せて企画をしている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に送迎の担当と支援について確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎終了後に短時間の振り返りを実施	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		職員同士で確認し、担当者が利用児童の連絡帳に記入する	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、適切な見直しを行っているか。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		工作の時間や公園に行く時間への参加は子どもたち自身に決めるよう促している	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要に応じて外国籍児童の保護者の言語ができる通訳を同席させる	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		現在は該当する児童がいない	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校行事・下校時間など各学校のHPや学校からのメールを確認し、不明点は普段から下校時のお迎えの際に担当教員と情報交換を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談員や保護者からの希望があれば、就学前に利用している児童発達支援事業所へ見学に出向き、情報共有に努める	保育園・幼稚園・こども園にとはまだできていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談員を通して放デイでの様子や支援内容を提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		研修会への参加や助言をいただく機会やセンターとの連携方法についての情報が不足しているため実現できていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		利用している子どもの障害特性や言語の関係で調整が難しく交流の機会が持てていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		協議会についての情報が不足しているため参加できていない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の送迎時に子どもを受け渡す際に子どもの状況やデイであったことなどを伝えるようにしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		保護者の言語の問題や仕事等で日程調整が難しいため実施できていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		外国籍の親子に対しては通訳を同席し、説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画の見直し時期には相談員・保護者を交えた面談を行っている。外国籍の保護者の場合は通訳を同席させている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		外国籍の親子に対しては通訳を同席し、説明を行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎時やメール、電話などで適宜相談を受け、必要であればアドバイスをしている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者の仕事等で日程調整が難しく、保護者からの希望もなかったため実施していなかった
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情には迅速に対応し、速やかに職員間で共有している。必要に応じて保護者にもお便りを作成し渡して知らせている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	SNSや学校からの一斉配信のメールの確認を促したり、必要に応じてお便りで知らせている	定期的な通信の発行は利用児童の保護者の言語の関係で現在できていない
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人ファイルは鍵のついたキャビネットに収めている。SNSで発信する際は写真等の扱いに細心の注意を払って掲載している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ハンドサインや絵カードを活用している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		招待できる規模や内容の行事の実施が難しいので行っていないが、毎年長期休暇の活動場所として県営住宅の集会所を借りて活動をしているため自治会との連携はできている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは職員が確認しやすい場所に設置、掲示し、緊急時にすぐ目に見えるようにしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画に従って必要な訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時に既往症・服薬情報などを確認し詳細を個別支援シートに記載し管理している てんかん発作等の情報を知った場合は保護者へ対応などの詳細を確認し職員間での情報共有を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		利用開始時にアレルギーの有無などを確認し、詳細を個別支援シートに記載し管理している 定期的に詳細を確認し職員間での情報共有を行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		設備・玩具・道具などに不具合が生じた場合は速やかに改善し安全に努めている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急時の対応については契約時に保護者に連絡方法と説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例があった際は報告書を作成し、職員間で情報共有を行い、ミーティングなどで再発防止のための対策の検討に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止・身体拘束適正化委員会の計画に基づき委員会を実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束の同意書・身体拘束となる時間の記録拘束を行った日の振り返りの記録を残している	実地指導で市の指導を受け、より詳細な記録が残せるようになった 今後も継続していく